

令和8年1－3月期

県内中小企業（製造業）景況動向調査

結果報告書

群馬県中小企業団体中央会

# 令和8年1-3月期中小企業（製造業）

## 景況動向調査結果

令和8年4月14日  
群馬県中小企業団体中央会

### 調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和8年3月10日～令和8年3月31日
3. 調査方法 郵送調査、インターネット調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは264社で、全体の回収率は52.8%となった。回答企業の平均従業員数は45.5人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		85社	42社	49.4%	25.8人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		47	24	51.1	17.9
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		31	15	48.4	20.2
紙 加 工 品 製 造 業		18	10	55.6	29.7
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		52	37	71.2	42.2
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		267	136	50.9	60.9
	計	500	264	52.8	45.5











## 6. 要旨

### 「収益性が下降し、全体では依然として業況停滞が続く」

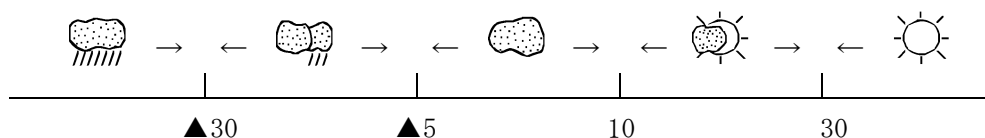
売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和7年1-3月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲17.0となり、前回調査（令和7年10-12月期）の▲11.1から5.9ポイント下降している。来期見通しにおいては、0.9ポイント上昇し、▲16.1となる見通しになっている。

全体の天気図は、「小雨」模様が続き、来期見通しにおいても「小雨」模様が続く見通しとなっている。














【図表1】

	6年				7年				8年	来期見通
	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
全体	 ▲17.0	 ▲17.5	 ▲15.7	 ▲16.1	 ▲12.6	 ▲18.4	 ▲17.5	 ▲11.1	 ▲17.0	 ▲16.1













※景況天気図は「売上高」「収益性」（同期比）のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



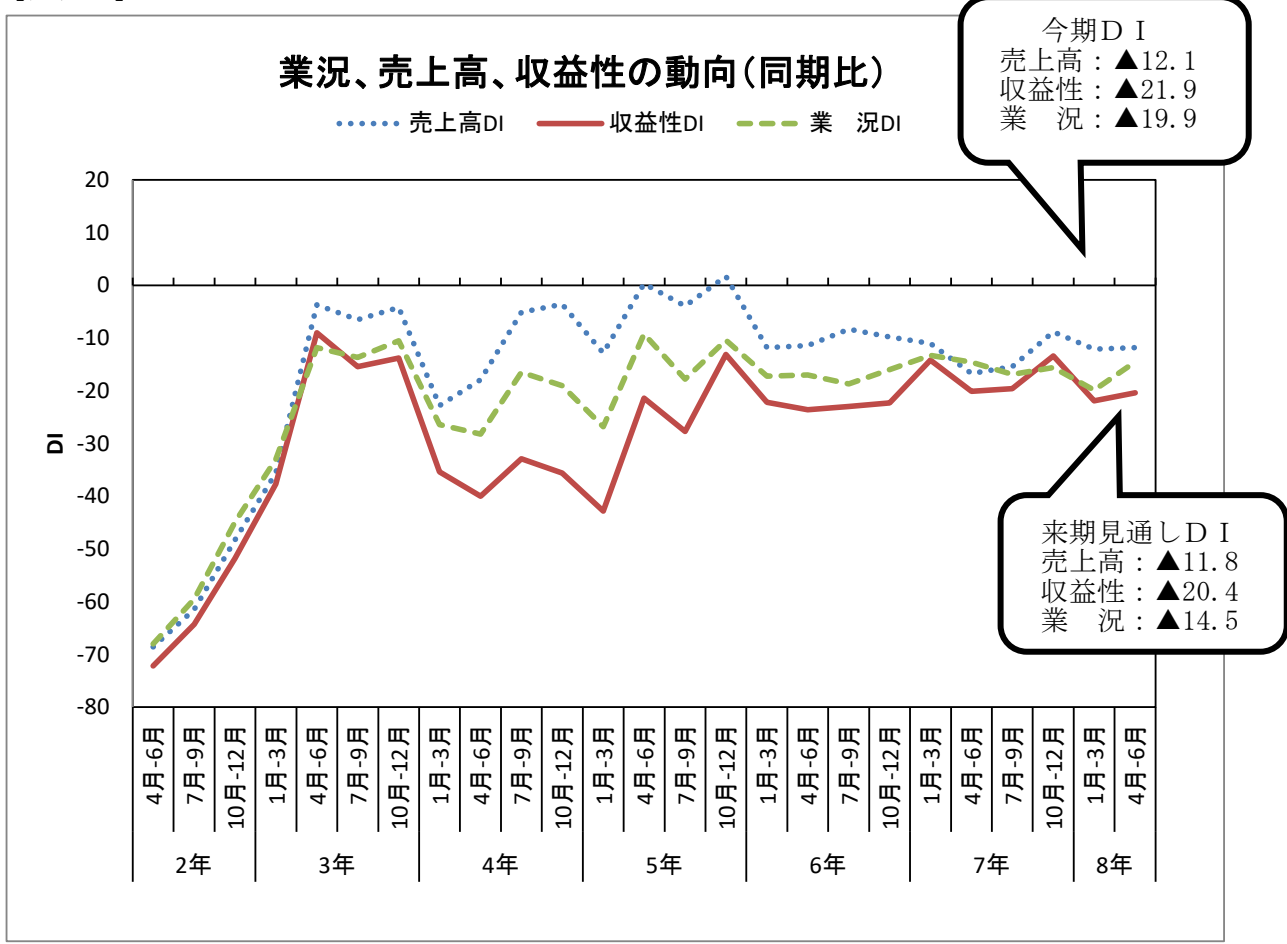
業種別にみると、回復2業種、横ばい3業種、悪化3業種となっている。

回復…「紙・加工品」	 → 
「プラスチック製品」	 → 
横ばい…「木材・木製品」	 が継続。
「金属・同製品」	 が継続。
「機械・機器」	 が継続。
悪化…「食料品」	 → 
「繊維・同製品」	 → 
「窯業・土石製品」	 → 

来期見通しにおいては、回復3業種、横ばい4業種、悪化1業種となっている。

- 回復…「繊維・同製品」  → 
- 「木材・木製品」  → 
- 「プラスチック製品」  → 
- 横ばい…「食料品」  が継続。
- 「紙・加工品」  が継続。
- 「金属・同製品」  が継続。
- 「機械・機器」  が継続。
- 悪化…「窯業・土石製品」  → 

【図表2】

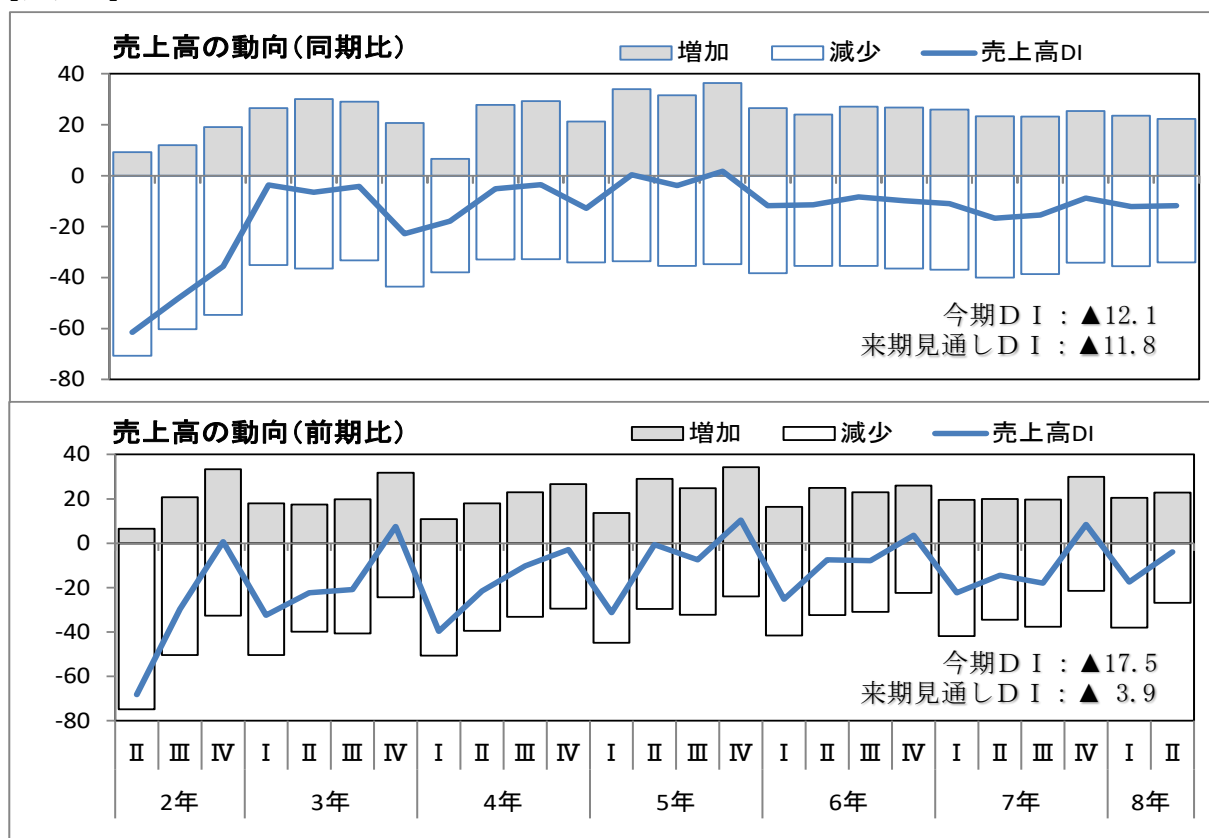


## 7. 項目別調査結果

### (1) 売上高(同期比)

同期比で売上高が「増加」したとする企業は23.5%、「減少」したとする企業は35.6%で、DIは▲12.1となり、前回調査の▲8.8から3.3ポイント下降している。来期見通しにおいては、0.3ポイント上昇し▲11.8となる見通しになっている。【図表3、4】

【図表3】



【図表4】

	売上高 同期比			売上高 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食料品	26.2	28.6	▲2.4	7.1	33.3	▲26.2
繊維	20.8	37.5	▲16.7	20.8	37.5	▲16.7
木材	0.0	46.7	▲46.7	6.7	53.3	▲46.6
紙・加工品	10.0	30.0	▲20.0	10.0	60.0	▲50.0
窯業・土石	21.6	43.2	▲21.6	13.5	48.6	▲35.1
金属	30.6	35.5	▲4.9	25.8	35.5	▲9.7
機械・機器	22.4	34.5	▲12.1	31.6	35.1	▲3.5
プラスチック	31.3	31.3	0.0	31.3	18.8	12.5
合計	23.5	35.6	▲12.1	20.5	38.0	▲17.5

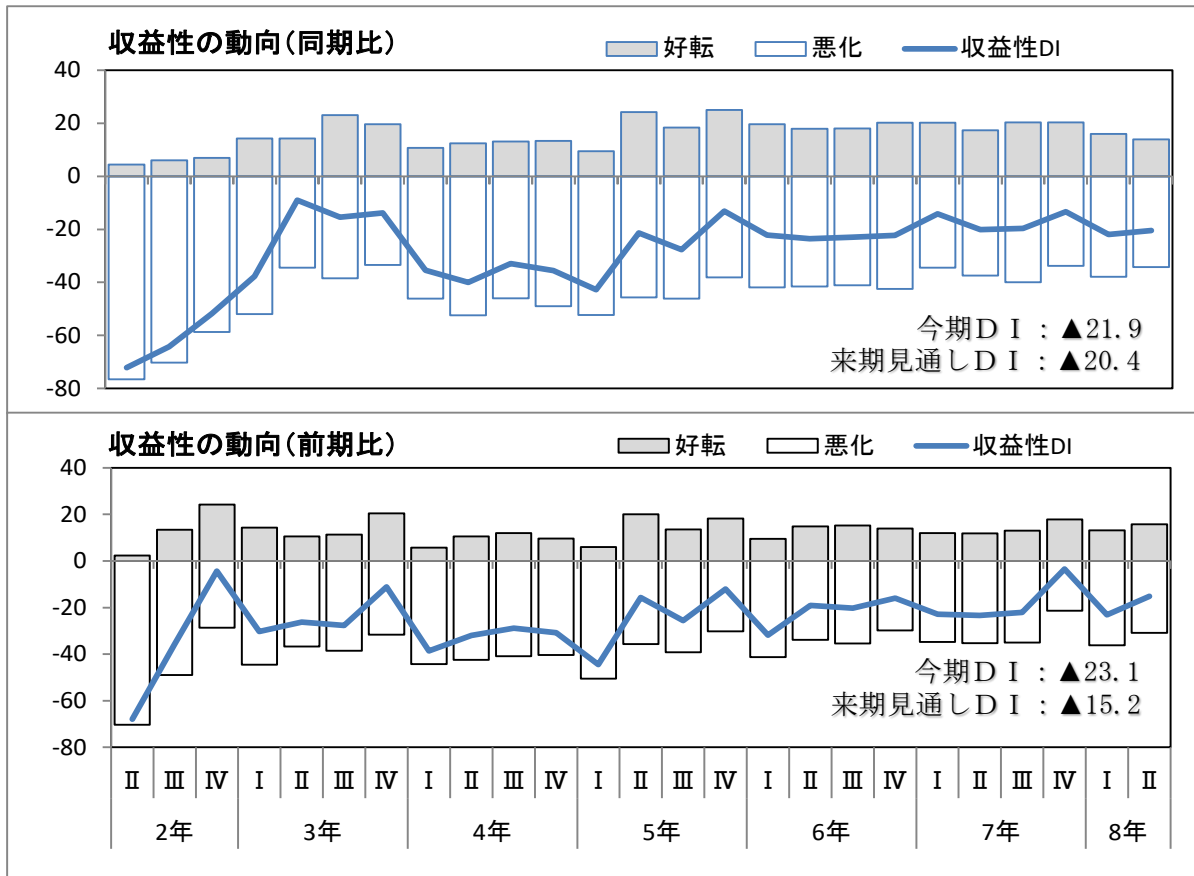
  

	売上高見通し 同期比			売上高見通し 前期比		
	増加	減少	DI	増加	減少	DI
食料品	19.0	21.4	▲2.4	19.4	22.2	▲2.8
繊維	25.0	33.3	▲8.3	11.1	44.4	▲33.3
木材	13.3	26.7	▲13.4	20.0	20.0	0.0
紙・加工品	30.0	50.0	▲20.0	40.0	40.0	0.0
窯業・土石	13.5	40.5	▲27.0	15.6	31.3	▲15.7
金属	27.4	37.1	▲9.7	32.7	19.2	13.5
機械・機器	22.4	37.9	▲15.5	21.2	28.8	▲7.6
プラスチック	31.3	25.0	6.3	25.0	25.0	0.0
合計	22.3	34.1	▲11.8	22.9	26.8	▲3.9

(2) 収益性(同期比)

同期比で収益性が「好転」したとする企業は16.0%、「悪化」したとする企業は37.9%で、D Iは▲21.9となり、前回調査の▲13.4から8.5ポイント下降している。来期見通しにおいては、1.5ポイント上昇し▲20.4となる見通しになっている。【図表5、6】

【図表5】



【図表6】

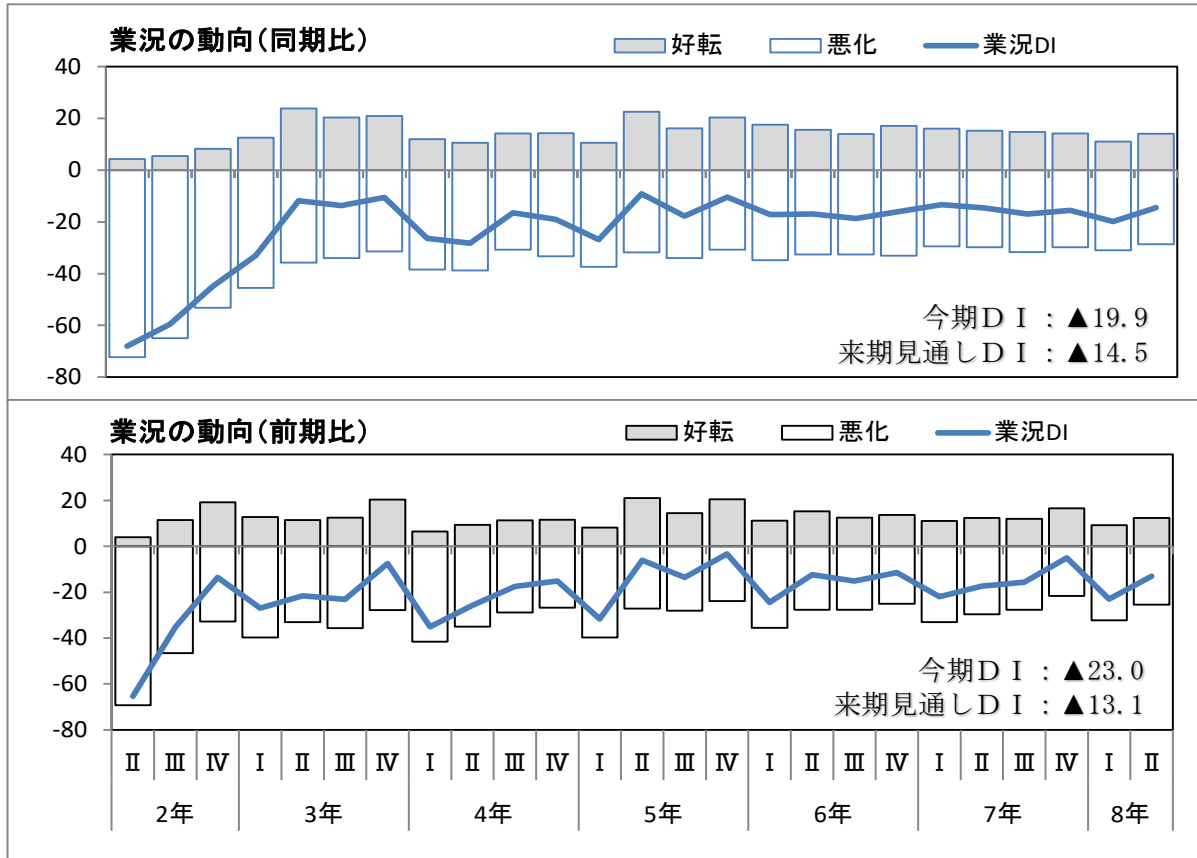
	収益性 同期比			収益性 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	16.7	38.9	▲ 22.2	13.9	38.9	▲ 25.0
繊維	6.3	56.3	▲ 50.0	5.9	52.9	▲ 47.0
木材	0.0	46.7	▲ 46.7	0.0	46.7	▲ 46.7
紙・加工品	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	▲ 40.0
窯業・土石	15.6	43.8	▲ 28.2	6.3	46.9	▲ 40.6
金属	17.3	32.7	▲ 15.4	17.3	32.7	▲ 15.4
機械・機器	31.0	37.9	▲ 6.9	19.6	29.4	▲ 9.8
プラスチック	12.5	31.3	▲ 18.8	18.8	12.5	6.3
合計	16.0	37.9	▲ 21.9	13.1	36.2	▲ 23.1

	収益性見通し 同期比			収益性見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	16.7	30.6	▲ 13.9	16.7	33.3	▲ 16.6
繊維	5.9	41.2	▲ 35.3	0.0	52.9	▲ 52.9
木材	6.7	40.0	▲ 33.3	13.3	26.7	▲ 13.4
紙・加工品	20.0	40.0	▲ 20.0	30.0	40.0	▲ 10.0
窯業・土石	6.3	40.6	▲ 34.3	12.5	31.3	▲ 18.8
金属	17.3	34.6	▲ 17.3	19.2	26.9	▲ 7.7
機械・機器	15.4	30.8	▲ 15.4	15.4	26.9	▲ 11.5
プラスチック	18.8	25.0	▲ 6.2	18.8	25.0	▲ 6.2
合計	13.9	34.3	▲ 20.4	15.7	30.9	▲ 15.2

(3) 業況 (同期比)

同期比で業況が「好転」したとする企業は11.1%、「悪化」したとする企業は31.0%で、DIは▲19.9となり、前回調査の▲15.6から4.3ポイント下降している。来期見通しにおいては、5.4ポイント上昇し▲14.5となる見通しになっている。【図表7、8】

【図表7】



【図表8】

	業況 同期比			業況 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	9.8	29.3	▲19.5	4.9	34.1	▲29.2
繊維	0.0	50.0	▲50.0	4.3	34.8	▲30.5
木材	0.0	33.3	▲33.3	0.0	60.0	▲60.0
紙・加工品	0.0	40.0	▲40.0	0.0	50.0	▲50.0
窯業・土石	2.7	35.1	▲32.4	5.4	37.8	▲32.4
金属	16.1	25.8	▲9.7	16.1	25.8	▲9.7
機械・機器	19.0	27.6	▲8.6	12.3	26.3	▲14.0
プラスチック	18.8	25.0	▲6.2	12.5	18.8	▲6.3
合計	11.1	31.0	▲19.9	9.2	32.2	▲23.0

	業況見通し 同期比			業況見通し 前期比		
	好転	悪化	DI	好転	悪化	DI
食料品	9.8	24.4	▲14.6	5.7	25.7	▲20.0
繊維	13.0	26.1	▲13.1	0.0	35.3	▲35.3
木材	6.7	20.0	▲13.3	7.1	21.4	▲14.3
紙・加工品	20.0	30.0	▲10.0	20.0	30.0	▲10.0
窯業・土石	10.8	32.4	▲21.6	6.3	31.3	▲25.0
金属	17.7	27.4	▲9.7	23.1	21.2	1.9
機械・機器	13.8	32.8	▲19.0	11.5	25.0	▲13.5
プラスチック	25.0	31.3	▲6.3	18.8	18.8	0.0
合計	14.1	28.6	▲14.5	12.3	25.4	▲13.1

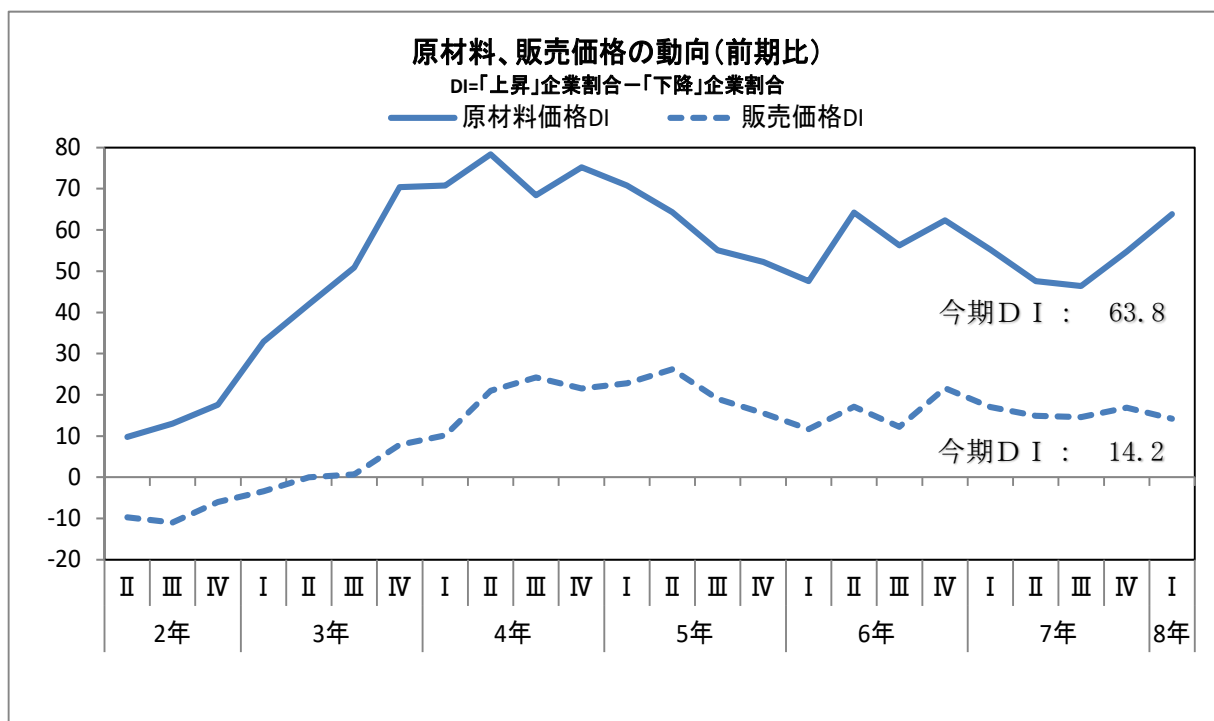
(4) 原材料価格、販売価格（前期比）

原材料価格について、前期比で「上昇」したとする企業は64.2%、「下降」したとする企業は0.4%で、DIについては63.8となり、前回調査の54.8から9.0ポイント上昇している。

販売価格については、前期比で「上昇」したとする企業は18.0%、「下降」したとする企業は3.8%で、DIについては14.2となり、前回調査の16.9から2.7ポイント下降している。

【図表9、10】

【図表9】



【図表10】

	原材料価格 前期比			販売価格 前期比		
	上昇	下降	DI	上昇	下降	DI
食料品	80.6	0.0	80.6	17.1	2.4	14.7
繊維	82.4	0.0	82.4	21.7	4.3	17.4
木材	66.7	0.0	66.7	20.0	0.0	20.0
紙・加工品	60.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0
窯業・土石	53.1	0.0	53.1	16.2	2.7	13.5
金属	61.5	0.0	61.5	17.7	4.8	12.9
機械・機器	56.9	2.0	54.9	15.8	5.3	10.5
プラスチック	62.5	0.0	62.5	25.0	6.3	18.7
合計	64.2	0.4	63.8	18.0	3.8	14.2

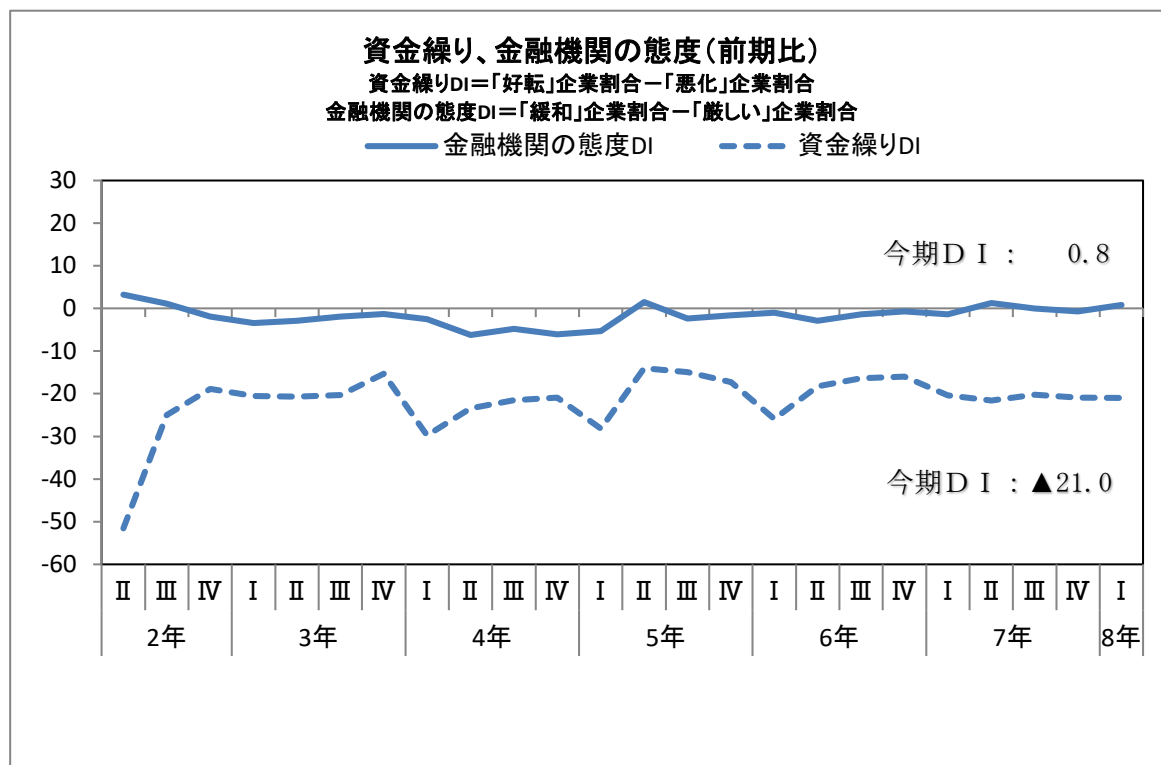
(5) 資金繰り、金融機関の態度（前期比）

資金繰りについて、前期比で「好転」したとする企業は4.9%、「悪化」したとする企業は25.9%で、DIは▲21.0となり、前回調査の▲20.9から0.1ポイント下降している。

金融機関の態度については、前期比で「緩和」したとする企業は5.5%、「硬化」したとする企業は4.7%で、DIは0.8となり、前回調査の▲0.7から1.5ポイント上昇している。

【図表 11、12】

【図表 11】



【図表 12】

	資金繰り 前期比			金融機関の態度 前期比		
	好転	悪化	DI	緩和	硬化	DI
食料品	2.4	19.5	▲ 17.1	5.0	5.0	0.0
繊維	0.0	26.1	▲ 26.1	0.0	0.0	0.0
木材	0.0	40.0	▲ 40.0	6.7	6.7	0.0
紙・加工品	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
窯業・土石	0.0	24.3	▲ 24.3	0.0	8.3	▲ 8.3
金属	11.3	21.0	▲ 9.7	11.5	3.3	8.2
機械・機器	15.0	70.0	▲ 55.0	3.5	1.8	1.7
プラスチック	0.0	12.5	▲ 12.5	0.0	18.8	▲ 18.8
合計	4.9	25.9	▲ 21.0	5.5	4.7	0.8

## (6) 設備投資

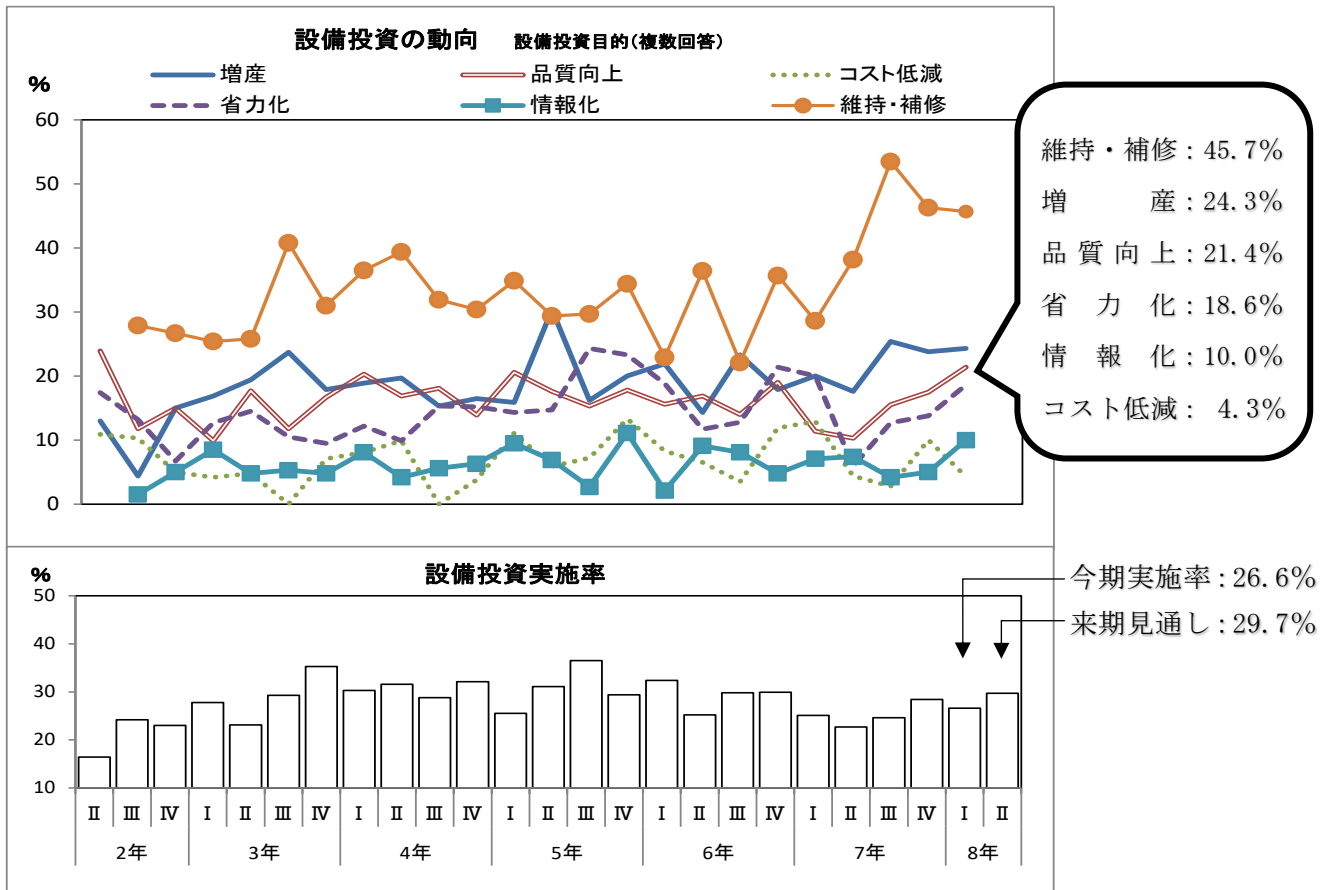
設備投資実施率については26.6%となり、前回調査より1.8ポイント下降している。なお、目的別にみると「維持・補修」が45.7%でトップとなっている。

来期の設備投資計画率（令和8年4-6月期の設備投資計画）については、今期より3.1ポイント上昇し、29.7%となる見通しになっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業は12.3%、「下降」したとする企業は24.7%で、DIは▲12.4となっている。

【図表13、14】

【図表13】







【図表14】

	設備投資			設備操業率 前期比			設備投資計画		
	実施	不実施	DI	上昇	下降	DI	実施	不実施	DI
食料品	22.0	78.0	▲56.0	5.9	14.7	▲8.8	28.9	71.1	▲42.2
繊維	20.8	79.2	▲58.4	5.9	35.3	▲29.4	28.6	71.4	▲42.8
木材	26.7	73.3	▲46.6	0.0	20.0	▲20.0	20.0	80.0	▲60.0
紙・加工品	10.0	90.0	▲80.0	0.0	60.0	▲60.0	33.3	66.7	▲33.4
窯業・土石	32.4	67.6	▲35.2	9.4	34.4	▲25.0	36.4	63.6	▲27.2
金属	30.6	69.4	▲38.8	21.2	17.3	3.9	26.7	73.3	▲46.6
機械・機器	24.1	75.9	▲51.8	15.7	25.5	▲9.8	32.7	67.3	▲34.6
プラスチック	37.5	62.5	▲25.0	18.8	18.8	0.0	26.7	73.3	▲46.6
合計	26.6	73.4	▲46.8	12.3	24.7	▲12.4	29.7	70.3	▲40.6





【図表 15】

## 食 料 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 7.5	 11.3	 ▲12.3	 ▲8.2
①同期比の売上高D I ▲2.4 ②同期比の収益性D I ▲22.2 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲12.3 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (4.1 上昇) ▲8.2 →「小雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲26.2 ⑤前期比の収益性D I ▲25.0 ⑥雇用人員判断D I 19.5 ⑦設備操業率D I ▲8.8 ⑧設備投資実施率 22.0% ⑨来期の設備投資計画率 28.9%			

【図表 16】





## 繊 維 ・ 同 製 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲17.2	 ▲13.6	 ▲33.4	 ▲21.8
①同期比の売上高D I ▲16.7 ②同期比の収益性D I ▲50.0 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲33.4 →「雨」模様へ転じている 来期見通し (11.6 上昇) ▲21.8 →「小雨」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I ▲16.7 ⑤前期比の収益性D I ▲47.0 ⑥雇用人員判断D I 29.4 ⑦設備操業率D I ▲29.4 ⑧設備投資実施率 20.8% ⑨来期の設備投資計画率 28.6%			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合





【図表 17】

## 木 材 ・ 木 製 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲41.6	 ▲31.2	 ▲46.7	 ▲23.4
①同期比の売上高D I ▲46.7 ②同期比の収益性D I ▲46.7 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲46.7 →「雨」模様が継続 来期見通し (23.3 大幅上昇) ▲23.4 →「小雨」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I ▲46.6 ⑤前期比の収益性D I ▲46.7 ⑥雇用人員判断D I 20.0 ⑦設備操業率D I ▲20.0 ⑧設備投資実施率 26.7% ⑨来期の設備投資計画率 20.0%			





【図表 18】

## 紙 ・ 加 工 品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲31.9	 ▲61.2	 ▲10.0	 ▲20.0
①同期比の売上高D I ▲20.0 ②同期比の収益性D I 0.0 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲10.0 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (10.0 下降) ▲20.0 →「小雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲50.0 ⑤前期比の収益性D I ▲40.0 ⑥雇用人員判断D I 10.0 ⑦設備操業率D I ▲60.0 ⑧設備投資実施率 10.0% ⑨来期の設備投資計画率 33.3%			





【図表 19】

## 窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲23.5	 8.7	 ▲24.9	 ▲30.7
①同期比の売上高D I ▲21.6 ②同期比の収益性D I ▲28.2 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲24.9 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (5.8 下降) ▲30.7 →「雨」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I ▲35.1 ⑤前期比の収益性D I ▲40.6 ⑥雇用人員判断D I 31.3 ⑦設備操業率D I ▲25.0 ⑧設備投資実施率 32.4% ⑨来期の設備投資計画率 36.4%			

【図表 20】





## 金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲21.5	 ▲11.9	 ▲10.2	 ▲13.5
①同期比の売上高D I ▲4.9 ②同期比の収益性D I ▲15.4 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲10.2 →「小雨」模様が継続 来期見通し (3.3 下降) ▲13.5 →「小雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲9.7 ⑤前期比の収益性D I ▲15.4 ⑥雇用人員判断D I 23.6 ⑦設備操業率D I 3.9 ⑧設備投資実施率 30.6% ⑨来期の設備投資計画率 26.7%			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合





【図表 21】

## 機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲17.4	 ▲18.3	 ▲9.5	 ▲15.5
①同期比の売上高D I ▲12.1 ②同期比の収益性D I ▲6.9 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲9.5 →「小雨」模様が継続 来期見通し (6.0 下降) ▲15.5 →「小雨」模様が続く見通し ④前期比の売上高D I ▲3.5 ⑤前期比の収益性D I ▲9.8 ⑥雇用人員判断D I 37.2 ⑦設備操業率D I ▲9.8 ⑧設備投資実施率 24.1% ⑨来期の設備投資計画率 32.7%			

【図表 22】

## プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
 ▲22.3	 ▲41.7	 ▲9.4	 0.0
①同期比の売上高D I 0.0 ②同期比の収益性D I ▲18.8 ③売上高+収益性のD I 平均値 ▲9.4 →「小雨」模様へ転じている 来期見通し (9.4 上昇) 0.0 →「曇」模様へ転じる見通し ④前期比の売上高D I 12.5 ⑤前期比の収益性D I 6.3 ⑥雇用人員判断D I ▲6.3 ⑦設備操業率D I 0.0 ⑧設備投資実施率 37.5% ⑨来期の設備投資計画率 26.7%			

## 群馬県主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数 (鉱工業)		所定外労働時間 (製造業計)		求人倍率 (季節調整値)	
	原指数	同期比	時間	同期比	新規	有効
令和6年	112.5	4.1	14.8	▲0.3%	2.13	1.33
令和7年						
1	97.8	▲22.8	12.4	▲10.8%	2.07	1.32
2	99.8	9.4	14.1	0.0%	2.13	1.31
3	125.4	2.0	13.6	▲1.4%	2.29	1.33
4	116.4	13.5	14.6	▲4.6%	2.00	1.31
5	104.0	▲6.6	13.5	▲5.5%	2.06	1.30
6	107.6	▲3.2	14.1	▲9.0%	2.16	1.28
7	123.5	6.6	13.4	▲16.8%	1.78	1.27
8	93.8	4.0	11.8	▲17.5%	1.98	1.23
9	136.6	▲0.4	13.4	▲8.2%	2.10	1.21
10	103.5	▲18.1	13.6	▲10.6%	2.10	1.23
11	93.5	▲15.5	14.0	▲11.4%	1.85	1.25
12	114.5	10.9	13.8	▲9.3%	2.13	1.26
令和8年						
1	91.0	▲6.8	13.1	5.6%	1.88	1.25
2	—	—	—	—	1.76	1.24
3	—	—	—	—	—	—
資料	県統計課 鉱工業指数 令和2年=100		県統計課 毎月勤労統計 規模5人以上		群馬労働局 労働市場速報	

項目 年月	自動車販売台数			
	登録自動車		軽自動車	
	台数	同期比	台数	同期比
令和6年	62,408	▲7.1	34,953	▲13.2
令和7年				
1	5,292	1.6	3,049	11.0
2	5,962	15.6	3,133	21.0
3	7,250	10.1	3,543	5.9
4	4,334	2.3	2,826	25.4
5	4,342	▲2.3	2,634	2.8
6	5,143	▲2.0	3,247	14.4
7	5,298	1.4	3,072	▲1.3
8	4,014	▲8.6	2,435	▲9.1
9	5,801	▲5.4	3,684	▲3.2
10	5,489	▲3.6	3,373	▲4.1
11	5,027	▲8.3	2,802	▲5.0
12	4,744	1.1	2,764	8.4
令和8年				
1	5,103	▲3.6	3,120	2.3
2	5,314	▲10.9	3,331	6.3
3	—	—	3,904	10.2
資料	群馬県自動車 販売店協会		群馬県軽自動車協会	